

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

別添資料8

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		身体を大きく動かし、発散できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		法定の配置上は問題ないが、職員が余裕をもって療育出来るように、配置人数を増員できるように努力したい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		車いすに配慮した建物でないため今後も、行政等に働きかけ車いすの利用者さんも安心して通所出来るようにしたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1		PDCAサイクルは、療育の質向上を目指すには、欠かせないことである。当事業所において非常に大切にしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			常に、ご本人、保護者様の意見に対して真摯に耳を傾け、改善すべき事があれば早急に改善対応をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	現在第三者評価は出来ていないので、今後検討をしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		外部研修への参加、内部研修も行って、児童指導員の質の向上に努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			ご本人、保護者様のご要望を踏まえ、ご本人の特性を細かく把握して計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		共通のアセスメントシートを用いて状況を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3		個別療育等は療育者の個人的主観が入らないように職員間で情報を共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			職員間で話し合い、療育内容がマンネリ化しないように工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		今後は、長期休暇に応じた支援が出来るように体制作りをさらに進めたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			個々の状況を把握したうえで計画作成をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			ミーティングを行い、支援内容の確認、役割分担について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		緊急性のあるものに関しては、当日振り返り等を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			利用児童個々の指導案に記載し、PDCAサイクルを行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			モニタリング会議の実施を行い、個別支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8			ガイドラインの総則に添った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			担当者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		事業所がある地域の幼稚園・保育園・小学校等には実際に挨拶に行っている。今より一層連携体制を確率出来るようにしたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		送迎をしている保育園等とは、情報交換が出来ている。今後は、必要に応じて可能な限り情報共有の機会を作りたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	1	学校を卒業した利用児童がいないので、機会がなかったが、今後そのような場合は、情報を提供できるようにしたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	1	研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	夏の音楽会での交流
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	1	地域のイベントの出店を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			HUG、SNSを通して利用児童の様子をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3		家族支援が出来る体制は取っている。実際に相談があった場合は、対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に説明をしている。もし、保護者様より、質問等がある場合は、丁寧に説明していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			随時、悩み事については相談できる体制を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2		保護者会を企画しているが、開催日時で関係で参加者が少ないので、保護者様が参加しやすい日時や関心のある内容にし、参加する保護者様増えるようにしたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	迅速に対応できるようにしたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		毎日のブログ、インスタ、Xの更新など。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1	十分に注意をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		個々の状況に有効な手立てを職員間で話し合い、絵カードやマカトンサイン等を用いる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	音楽会に地域の方をご招待し、日頃の療育の内容をや施設について理解を深める機会作りをしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3	マニュアルが職員だけでなく利用者様にもわかるように掲示の工夫をしたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	3	避難訓練は年2回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	虐待防止のため事業所内研修を年2回行い認識を深めるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2	現在身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	ヒヤリハット報告書を作成し、事業所職員で共有し事故防止、再発防止に努めている。